

令和２年度 第５回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会 議 名	令和２年度 第５回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会		
日 時	令和３年１月１５日（金）午後１時３０分～午後３時３０分		
場 所	橋本市教育文化会館３階第３研修室		
出席者	委 員 (敬称略)	堀内 秀雄 乾 幸八 前田 陽一郎 平家 利也 田村 亜美 山本 光子 遠藤 和美 藤田 佐紀 森田 知世子 森川 嘉久 小林 俊治 浅野 匡洋 上田 ひと美 大山 善久 岸田 昌章 戸島 浩子 東 美樹 薮 祐梨子 【出席委員：18名】	
欠席者	委 員 (敬称略)	松端 克文 【欠席委員：1名】	
事務局		政策企画課長 中岡 勝則 課長補佐兼地域振興係長 前川 朋久 地域振興係主任 平井 新也 地域振興係副主査 上原 慎太郎	
次 第	1．開会 2．報告 第２回提言（案）作成チーム会議（令和２年12月17日開催）より 3．議題 （1）提言書（案） （2）第６回はぐくむ委員会及び提言書の提出日程 4．閉会		
資 料	資料１ 第２回提言（案）作成チーム会議内容まとめ 資料２ 提言書（案） 別紙１ 各班の各論		

1.開会

2. 報告

第2回提言（案）作成チーム会議（令和2年10月19日開催）内容まとめより事務局から以下の説明。

【第4回はぐくむ委員会からの変更点】

- ・提言書の総ページ数を8Pから16Pに変更する。
- ・当初、提言書の資料編は別冊にする予定だったが、表紙を含めて前半9Pが本編、後半7Pが資料編という構成に変更する。
- ・資料編の内容は「はぐくむ委員会のあしあと」、「橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会名簿」、「すこやか橋本まなびの日アンケート」、「職員アンケート」、「はぐくむサポーターアンケート」を予定している。
- ・アンケート結果は簡易版とし、A4一枚とする。

【第2回提言（案）作成チーム会議での委員意見】

- ・内容については問題点を列記するのではなく、提案型の記載を行うことで建設的な提案になるのではないか。

【第2回提言（案）作成チーム会議まとめ】

- ・提言書は、はぐくむ委員会全体の意見となることから全体として統一感のあるものにしていきたい。
- ・可能であれば、数値目標などを提案したほうが目指すところが明確になる。
- ・委員会内の意見が一致しない箇所は一致しなかった旨記載すればよい。

3. 議題

（1）提言書（案）

情報共有、市民参画、協働のまちづくり班に分かれ、提言書（案）について協議し、各班より発表を行った。

【情報共有】

- ・今年度のアンケートははぐくむサポーターやその周囲の方など、こういったことに興味のある方が対象となっているため、はぐくむ条例の認知度が向上している。来年度から興味ある人とも積極的に交流を行っていきたい。
- ・裏表紙にはぐくむの木をカラーで掲載したいと思っている。
- ・はぐくむサポーターとの情報共有のための交流会を開きたい。
- ・総論の提案部分に温度差を感じる。情報共有から出ている提案は具体的なので他の項目も、もう少し具体的な提案を載せてほしい。
- ・P 4 記載の表に母数を記載してもらいたい。

【市民参画】

- ・提言書がはぐくむ委員から市長に向けての内容になっていない箇所があるため、見直す必要を感じる。また文章の表現の仕方についても格調高い、哲学的な記載があり、万人への理解は難しいように感じる。もう少し読む人が理解しやすい書き方にした方がよい。
- ・数値目標の設定は設定した数値が正しいのかという議論もある。
- ・タイトルと内容があっていない箇所があり、見直しの必要がある。例えば、P 4 より P 5 の方が『活動と成果』のタイトルにはあっているように感じる。
- ・P 5 で『市民の意欲が第一です』と書くよりも、『市民の意欲を喚起するような政策をお願いする』のような書き方がよいかなと思いました。
- ・提案については、各論ではなく総論に記載する方が良い。
- ・総論が各論を踏まえた内容になっていない。

【協働のまちづくり】

- ・地域担当職員制度について記載している箇所は地域運営組織についての記載に変更となる。
- ・総論へ協働のまちづくりの具体的提案について記載する。

【まとめ】

- ・総論で具体的な提案をする場合は各論でその旨、各論に記載しておく。
- ・各論の内容を踏まえた総論とするため、内容について表現や順番を考える。また提言書全体についても同様に見直しを行う。
- ・P 1 1 『はぐくむ委員会のあしあと』を P 4 『活動と成果』の前にもってくる。
『活動と成果』の内容はもう少しコンパクトになるかもしれない。
- ・提言書は市長に対してだけ提出するが、内容は市や市民に対しても報告するものとなるよう意識する。

- ・提言書の内容は遠慮しなくてもよいが断定的、独りよがりな表現とならないようにする必要がある。根拠の乏しいことを記載したり、実績に関わらない部分を提案課題として提出したりしないようにする。
- ・各班の各論は『今まで、今、これから』、『過去、現在、未来』など、時系列を意識して記載する。『これから、未来』にあたる部分を箇条書きで提案課題として記載。
- ・事務局は委員の意向を考えて文書の考察を行う。

(2) 第6回はぐくむ委員会及び提言書の提出日程

事務局から第6回はぐくむ委員会を昼から開催し、最終修正を行い、16時頃に提言書の提出を予定している旨説明。

候補は3月23日(火)、24日(水)、26日(金)の午後。

【委員提案】

- ・2月に提言(案)作成チーム会議を開催し、提言書修正は第6回はぐくむ委員会では行わない方向で考えないか。
→委員、事務局共にOK
- ・提言書提出後、市長と懇談の機会を設けてもらいたい。
- ・提言書提出の希望日は3月23日(火)、24日(水)、26日(金)の順。
- ・提言(案)作成チーム会議の前までにはぐくむ委員全員に提言書(案)を郵送で送付してほしい。

【まとめ】

- ・第3回提言(案)作成チーム会議は2月19日(金)13時30分に開催する。
- ・提言書提出は3月23日(火)午後にはぐくむ委員全員で行う。その後、市長と委員の懇談会を行う。
- ・提言書の変更内容を取りまとめ2月12日(金)までに提言書(案)をはぐくむ委員へ紙で郵送する。各班の提言(案)の修正期限は事務局より追って連絡する。
- ・提言(案)作成チーム会議に委員が参加できない場合は代理出席を行う。

4. 閉会

以上

【会議録署名欄】

委員長

稲内秀雄

【会議録署名欄】

委員

山本光子

【会議録署名欄】

委員 大山 善久